

佐藤 誠 教授 略歴・主要著作目録

学 歴

- 1968年 東京都立大学人文学部入学
1972年 同学部史学専攻卒業
1980年 英国・リーズ大学大学院政治学研究科修士課程入学
The University of Leeds, Department of Politics
1981年 同課程修了（政治社会学）
修士 M.A.
1981年 同研究科博士課程進学
1987年 同課程修了（政治学）
博士 Ph.D.

職 歴

- 1972年 読売新聞社 入社
1980年 同社 退社
1988年 立命館大学国際関係学部専任講師
1991年 同学部助教授
1994年 同学部教授

（非常勤、客員）

- 1989-1992年 大阪外国語大学アラビア・アフリカ語学科非常勤講師
1999年 名古屋大学大学院国際開発研究科非常勤講師
1992-1993年 マドリッド自治大学経済経営学部客員教授
Profesor Visitante, Universidad Autónoma de Madrid
2000年 ボルドー政治学院客員教授
（立命館 / ボルドー教員交換プログラム）

- Institute d'Études Politiques de Bordeaux
- 2001年 南アフリカ・ステレンボッシュ大学大学院政治学研究科客員教授
(国際交流基金日本研究客員教授プログラム)
- University of Stellenbosch
- 2004-2005年 オクスフォード大学セントアントニーズ・カレッジ客員研究員
Senior Associate Member, St Antony's College, University of Oxford
- 2009年 ヨーク・セントジョン大学客員教授
Visiting Professor, York St John University

主要著作

【著書（単著）】

- 『飢餓からの解放—南部アフリカの自立と協同組合運動』芽ばえ社, 1984年
『アフリカ協同組合論序説』日本経済評論社, 1989年

【著書（編著）】

- 『協同組合の拓く町—スペイン・モンドラゴンの実験』芽ばえ社, 1984年
『地域研究調査法を学ぶ人のために』世界思想社, 1996年
『南アフリカの政治経済学—ポスト・マンデラとグローバリゼーション』明石書店, 1998年
『社会開発論—南北共生のパラダイム』有信堂, 2001年
『越境するケア労働—日本・アジア・アフリカ』日本経済評論社, 2010年

【著書（共編著）】

- 『協同組合の拓く社会—スペイン・モンドラゴンの創造と探求』みんけん出版, 1988年
『新生南アフリカと日本』勁草書房, 1994年
『南アフリカと民主化—マンデラ政権とアフリカ新時代』勁草書房, 1996年
『移動と定住—日欧比較の国際労働移動』同文館, 1998年
『人間の安全保障—世界危機への挑戦』東信堂, 2004年
Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights, Palgrave
Macmillan, 2007
『エティック国際関係学』東信堂, 2011年
『英国学派の国際関係論』日本経済評論社, 2013年

【著書（共著 章担当）】

『アリスメンディアリエタの協同組合哲学—スペイン・モンドラゴン協同組合の創設思想』（ホセ・アスルメンディほか編）みんけん出版，1990年

「モンドラゴン協同組合とアリスメンディアリエタ」担当

『南部アフリカーポスト・アパルトヘイトと日本』（川端正久・佐々木建 編）勁草書房，1992年

「アパルトヘイト廃絶と“民主化”への展望」担当

『協同組合思想の形成と展開』（伊東勇夫 編）八朔社，1992年

「協同組合と開発協力」担当

『発展途上国経済論』（森野勝好・西口清勝 編）ミネルヴァ書房，1994年

「南アフリカーインフォーマル・セクターの展開」担当

『アフリカと日本』（川端正久 編）勁草書房，1994年

「モザンビークへの自衛隊派遣と日本のアフリカ政策」担当

Transitions libérales en Afrique lusophone (LUSOTOPIE ed.), Éditions Karthala, 1995

“Le Mozambique comme enjeu de politique extérieure: ou le nouveau rôle de Japon en Afrique” 担当

『労働者協同組合の新天地—社会的経済の現代的再生』（富沢賢治ほか 編）日本経済評論社，1996年

「スペインにおける社会的経済と地域」担当

『アフリカー第三の変容』（大林稔 編）昭和堂，1998年

「1990年代前半までの日本のアフリカ援助政策の特質について」担当

『新生国家南アフリカの衝撃』（平野克己 編）アジア経済研究所，1999年

「新生南アフリカの外交政策」担当

『グローバル・ポリティクス—世界の再構造化と新しい政治学』（小林誠・遠藤誠治 編）有信堂高文社，2000年

「第三領域としての市民社会と途上国研究」担当

『アフリカ比較研究—諸学の挑戦』（平野克己 編）アジア経済研究所，2001年

「小火器拡散問題と平和構築—南アフリカの取り組み」担当

State/Society Responses to Globalisation (Philip Nel ed.), Centre for International and Comparative Politics, Stellenbosch University, 2002

“International Population Movements into and from a Globalising Japan” 担当

『アフリカの挑戦—NEPAD（アフリカ開発のための新パートナーシップ）』（大林稔 編）昭和堂，2003年

「NEPDをめぐるリーダーシップとパートナーシップ」担当

Japan and South Africa in a Globalising World (Chris Alden and Katsumi Hirano eds.),
Ashgate, 2003

“South African Agriculture and the East Asian Experience” (Makoto Sato and Chizuko
Sato) 担当

『アフリカ経済論』（北川勝彦・高橋基樹 編）ミネルヴァ書房，2004年

「日本のアフリカ援助外交」担当

『非営利・協同システムの展開』（中川雄一郎ほか 編）日本経済評論社，2008年

「社会的経済と企業の社会的責任」担当

『人間の安全保障—国家中心主義をこえて』（武者小路公秀 編）ミネルヴァ書房，2009年

「人間の安全保障と日本の外交政策」担当

Japan and Africa: globalization and foreign aid in the 21st century (Howard Lehman ed.),
Routledge, 2010

“An historical analysis of Japan’s aid policy in Africa” 担当

【著書（翻訳 単訳）】

『モンドラゴン—現代生産協同組合の新展開』御茶の水書房，1986年

【著書（翻訳 共訳）】

『モンドラゴンの創造と展開—スペインの協同組合コミュニティ—』日本経済評論社，1991年

『イタリア協同組合物語』リベルタ出版，1992年

『社会的経済—近未来の社会経済システム』日本経済評論社，1995年

『地球が生き残るための条件』家の光協会，2002年

『スペイン社会的経済概括報告書（2000年）』非営利・協同総合研究所いのちとくらし，2005年

『国際理論—三つの伝統』日本経済評論社，2007年

『国際関係理論の探究—英国学派のパラダイム』日本経済評論社，2010年

【論文】

「モンドラゴン生産協同組合（1）」（『商品流通と生協経営』76号，1982年）

「“モンドラゴン”から何を学ぶか」（『商品流通と生協経営』89号，1983年）

「モンドラゴン生産協同組合の今日的意義」（『生活協同組合研究』104号，1984年）

「労働者生産協同組合論」（『生活協同組合研究』125号，1986年）

「アフリカの協同組合運動について」（『生活協同組合研究』126号，1986年）

「モザンビークの社会主義農業建設と協同組合」（『協同組合研究』7巻2号，1988年）

- 「アフリカの協同組合の特質」(『生活協同組合研究』150号, 1988年6月)
- “The organisation and effectiveness of cooperatives in Zimbabwe”, University of Leeds, Leeds Southern African Studies, 1988.
- 「地域平和に向けたアパルトヘイト廃絶と「民主化」の展望」(『平和研究』第16号, 1991年10月)
- 「スペインの労働者協同組合における経営参加とECの社会労働政策に及ぼす影響」(平成3年度科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書, 1992年3月)
- 「労働者参加と社会的経済に見るEC統合」(『立命館国際研究』5巻1号, 1992年5月)
- “Present and Future Trends in the Employment of Foreign Workers in Japan” (Ken Sasaki and Makoto Sato) (『立命館国際研究』5巻3・4号, 1993年3月)
- “The Participation of the Japanese Self-Defence Forces in the UN Peace-Keeping Operations in Mozambique” (『立命館国際研究』6巻3号, 1993年12月)
- “Evolución del empleo de trabajadores extranjeros en Japón” (Makoto Sato y Ken Sasaki), *Estudios geográficos* (Madrid), Liv 210, 1993.
- 「ECにおける社会経済と労働者参加」(『生活協同組合研究』217号, 1994年2月)
- “The Japanese Africa Policy and the Participation of the UN Peace-Keeping Operations in Mozambique”, University of the Witwatersrand, International Relations Department, March 1994.
- “Japanese strategy in Africa: the case of Mozambique”, *Review of African Political Economy*, Volume 21, Issue 59, 1994.
- “Recent Japanese Policy in Africa”, *L’Afrique dans le monde*, Centre de Recherches Entreprise et Société, 1994.
- 「ポスト・アパルトヘイト南アフリカの国民創出と多様性のジレンマ」(『立命館言語文化研究』7巻5・6号, 1996年3月)
- “Some Characteristics of the Japanese Africa Policy in the 1990s”, University of Leipzig, Papers on Africa, 1997.
- 「1970年代以降の日本のアフリカ援助政策の特質について」(1996年度文部省科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書, 1997年)
- 「南ア民主化とロメ協定加入問題」(『南アフリカの衝撃—ポスト・マンデラ期の政治経済』(平野克己編), アジア経済研究所, 1998年3月)
- 「地域協力と南アフリカ」(文部省科学研究費補助金(国際学術研究)研究成果報告書, 1998年)
- 「先進国・アフリカ関係の再編—ロメ協定改訂問題と南部アフリカ」(『アジア経済』40巻2号, 1999年2月)
- 「日本のアフリカ外交と平和貢献の展望」(『平和研究』24号, 1999年11月)

- 「アフリカ研究と市民社会論—南アフリカを事例として」(『国際政治』123号, 2000年1月)
- 「南アフリカと日本における平和学の比較分析」(『アフリカ比較研究に向けて—諸学の挑戦』(平野克己編), アジア経済研究所, 2000年3月)
- 「アフリカ認識とオリエンタリズム—シュバイツァーを見る眼差し」(『アジア研ワールド・トレンド』64号, 2001年1月)
- 「社会資本とソーシャル・キャピタル」(『立命館国際研究』16巻1号, 2003年6月)
- “La diplomatie japonaise de l'aide et l'Afrique” (Makoto Sato et Chris Alden), *Afrique Contemporaine*, No212, Décembre 2004.
- “From Foreign Workers to Minority Residents: Diversification of International Migration in Japan”, *Ritsumeikan Annual Review of International Studies*, Vol.3, December 2004.
- 「英国の協同組合運動における企業の社会的責任活動—Co-operative Groupの実践—」(『生活協同組合研究』348号, 2005年1月)
- “Japanese Aid Diplomacy in Africa: An Historical Analysis”, *Ritsumeikan Annual Review of International Studies*, Vol.4, December 2005.
- 「日本における人間安全保障をめぐる政策と議論」(『立命館国際研究』18巻3号, 2006年3月)
- 「CSRとグローバリゼーション」(『いのちとくらし研究所報』15号, 2006年5月)
- 「日本人の平和認識—英国学派の「多元主義」「連帯主義」論争に照らして」(『立命館国際研究』25巻3号, 2013年3月)
- 「民主主義とガバナンスのジレンマ—ルワンダ愛国戦線政府の評価をめぐって」(『立命館国際研究』26巻4号, 2014年3月)

【翻訳論文】

- 「EC統合とスペインの社会的経済」(『生活協同組合研究』211号, 1993年8月)
- 「スペインにおける移民労働者」(『立命館国際研究』6巻2号, 1993年9月)

【その他】

- 「ジンバブウェ農村社会の構造—再入植事業を分析する」(日本アフリカ交流協会『 Gondwana』1984年10月)
- 「労働者協同組合と労働党『社会所有』声明」『仕事の発見』創刊号, 1986年
- 「書評 J・ニヤングオロ, T・ショー編『アフリカにおけるコーポラティズム—その比較分析と実践—』」(『アジア経済』32巻4号, 1991年)
- 「ICAの協同組合6原則をめぐる今日的総括」(『協同組合研究』11巻2号, 1992年5月)
- 「モザンビーク PKO 派遣への疑問」(『世界』585号, 1993年8月)

- 「南アフリカの政治」ほか（『政治学事典』猪口孝ほか編，弘文堂，2000年）
- 「南アフリカの社会開発」『南部アフリカ援助研究会報告書』，国際協力事業団，2000年12月
- 「南アフリカの小火器拡散問題にみる平和構築と人間の安全保障」（『グローバリゼーションとガバナンスの危機』報告集，立命館大学国際地域研究所・中部大学国際地域研究所，2000年12月2日）
- 「書評 前田啓一著『EUの開発援助政策—ロメ協定の研究：パートナーシップからコンディショナリティへ—』（『アジア経済』42巻5号，2001年）
- 「書評 武内進一編『現代アフリカの紛争—歴史と主体』（『国際政治』128号，2001年10月）
- 「アフリカを知る」（立命館大学国際関係学部ホームページ，IRナビ，2002年～2013年）
- 「一つの反「文明の衝突」論」（『アフリカレポート』36号，2003年3月）
- 「日本のアフリカ外交—歴史にみるその特質」（『成長するアフリカ—日本と中国の視点』報告集，アジア経済研究所，2007年9月）
- 「人間安全保障概念の再検討とアフリカ研究」（『アフリカ研究』71号，2007年12月）
- 「移民—南アと南部アフリカ』，「『虹の国』とゼノフォビア」（『南アフリカを知るための60章』峯陽一編 明石書店，2010年）
- 「書評 川端正久・落合雄彦編『アフリカと世界』（『アフリカ研究』81号，2012年12月）

